

序 文

今日、職業訓練における教科書、教材は大きな曲がり角にさしかかっている。その原因は、もちろん職業訓練法の改正にみられるような我が国職業訓練の構造的変貌と無関係ではない。

しかし、このような要因と絡み合いながらも、今日の職業訓練用教科書、教材に寄せられる批判は、より根元的な視点から発せられているように思う。それはまさにこれらの教科書、教材が職業訓練用であるがゆえに負っている宿命的課題——広範な職種の要請の多様性——に必ずしもこたえていないということであろう。そうして、この課題の支柱となるべき“職業訓練用教科書、教材論”はほんとうの意味では未確立である。

これらの多様な要請に対して、「地域、流儀の多様性を無視した統一的教科書にいかなる意味があるのか」といった素朴な疑問から始まり、「教科書は授業進行のためのテキストか、それとも参考書か」、「教編要領に対する教科書の修飾はどこまで許容されるのか」、「教科書が多様な訓練生にとって、“わかりやすい”ことの本質は何か」、「実学一体教科書は存在しうるのか」、「資格取得と“技能の素地の付与”との斉合は可能か」等の課題が、指導員、執筆者あるいは作成担当者の中で十分な合意のないままに、作成されてきたのが現状であろう。

本報告は職業訓練用教科書に対する、公共訓練指導員、執筆者などの意見を整理・集約して、現状に対するなんらかの改善の端緒を得ようとしたものである。ここで集約された意見は、もちろん指導員、執筆者の立場からする視点に立っている。異なった立場からは、あるいは異なった意見もありうるであろう。これらの意見が総合されることを願うとともに、本報告がその総合の一助として、教科書改善に役割を果たすことを祈りたい。

昭和 53 年 3 月

職業訓練大学校 調査研究部長

宗 像 元 介

職業訓練用教科書のあり方に関する調査研究

職業訓練大学校

研究担当 調査研究部 豊田進也

はじめに

現在、労働省作成あるいは労働省認定による職業訓練用教科書が305種類発行されている。⁽¹⁾また、各公共職業訓練校ではこの職業訓練用教科書を補う形で、認定外教科書および参考図書約250社1,500種類を利用している。⁽²⁾しかし、現場からはこれらの職業訓練用教科書に対して、いささか極論すれば「学校教科書の亜流である」との批判をよく耳にする。この批判は、職業訓練の独自性に見合った職業訓練用教科書の作成への期待がいかに強いかを表しているものであろう。

いったい、職業訓練の独自性に見合った教科書とは何であろうか。それは職業訓練の理念である、いわゆる「実・学融合」を体現した教科書の作成であるといえよう。しかし、このような教科書を作成するためには、これまでの職業訓練用教科書についてその作成方針、教科書内容、教科書形態等の検討が要請される。

だが、このような教科書改善への必要性があるにもかかわらず、現在のところ職業訓練用教科書に関する研究成果はあまり多くはない。その主要な成果を掲げれば、①「技能と技術－特集・職業訓練における望ましい教科書とは－」(1969)⁽³⁾、②「職業訓練－特集・職業訓練教材のあり方－」(1973)⁽⁴⁾、③労働省職業訓練局「職業訓練用教科書使用実態調査結果報告書」(1976)、④「技能と技術－シンポジウム・職業訓練教科書改善の方向－」(1977)⁽⁵⁾、⑤豊田進也「教科書・教材のあり方に関する調査結果」(1977)⁽⁶⁾等である。このうち①、②、④の成果は、職業訓練用教科書の問題を総論的に考察したものであり、③のそれは職業訓練用教科書の使用実態を、また、⑤のそれは職業訓練用教科書に関する指導員の意識調査である。

本研究の目的は、これらの先行研究を踏まえ、職業訓練用教科書が現在どのように使用されているかの視点から、今後の職業訓練用教科書のあり方をさぐろうとすることにある。このような教科書研究は、教科書改善のために教科書内容の精選、あるいは構造研究に劣らず重要な研究視点であると考えからである。このために本報告書は、①職業訓練用教科書の作成過程の実

態，②職業訓練用教科書および認定外教科書の使用実態，③職業訓練用教科書に関する指導員の意識，④教科書執筆者の意識，の分析から，上記主題を明らかにしようとしたものである。もちろん，今後の職業訓練用教科書のあり方を究明するためには，これらの実態分析および意識調査ではふじゅうぶんであることはいうまでもない。しかし，本報告書がこの種の研究の端緒になり，職業訓練用教科書の改善の一助になれば幸いである。

- (1) 労働省職業訓練局指導課によれば，昭和53年3月現在において発行され，使用可能な状態にある教科書は，労働省作成になるもの83件，労働省認定によるもの222件である（「生産工学概論〔Ⅰ〕〔Ⅱ〕」等のように分冊されている教科書は1件としてある）。
- (2) 昭和50年4月現在，労働省職業訓練局が昭和51年6月にまとめた「職業訓練用教科書使用実態調査結果報告書」による。
- (3) 掲載論文は次のとおりである。
森実健夫；職業訓練における望ましい教科書とは
座談会；教科書問題の現状と今後の課題
工藤 侃；職業訓練教科書・教材について
田口幸靖；教科書をじょうずに使うには
- (4) 掲載論文は次のとおりである。
小川賢治；職業訓練用教科書に望む
管野茂甚；第一線訓練マンから見た職業訓練用教科書
吉村耕一；職業訓練と教科書
労働省職業訓練局指導課；職業訓練用教科書の作成と認定状況
- (5) 昭和52年7月，第4回職業訓練研究発表会（横浜市）
- (6) 「技能と技術」VOL.12, 6/1977, P35~39

調査研究報告書第43号

発 行 昭 和 53 年 3 月 28 日

発 行 者 職 業 訓 練 大 学 校

調査研究部長 宗 像 元 介

職業訓練 神奈川県相模原市相原1960

大 学 校 TEL (0427) 61 - 2 1 1 1